

第1号議案

令和5年度事業報告及び計算書類・監査報告に関する件

令和5年度事業報告

理事長 中川 法一

Post COVID-19 を意識した事業展開を模索する令和5年度となりました。その基盤として理事数の増員による執行役員体制の強化を行い、当センター発足時の理事数5名から4名増員の9名の理事体制でセンター業務の執行に取り組みました。また、大阪府作業療法士会および大阪府言語聴覚士会から外部監事としてセンター運営に加わっていただくことができました。このように人的強化ができた結果、創設時よりのショートゴールでもありました様々な課題に対し、特別諮問委員会を設置し解消に取り組むことができた年度となりました。

「総合理学療法学プレゼンス向上委員会」では、査読システムの適正化を行い質的な向上を図りながら会員からの論文投稿が増えるような取り組みをしています。

「学会・研修集会在り方検討委員会」では、COVID-19 を経験した世代、COVID-19 の渦中でしか研修に取り組みなかった世代での意識の差が浮き彫りになる中で、IT および ICT を存分に活用しながらも、私たちの中核をなす理学療法技術やマインドなどハンズオンでしか伝えられないものの存在を明確に意識し、多様なニーズに対応するべく検討を行っております。さらに、現在の大阪府理学療法学術大会（以下、大阪学会）の存在意義を尊重しながら「独立化」の必要性・意義の検討など大阪学会の未来像を描く工程に取り掛かりました。並行して研究計画にあたっての倫理的問題を査定・指導する倫理委員会機構の構築にも着手しております。

長期在任の弊害を防ぐために令和5年度より理事長の任期制（2期間4年）導入を先の総会でご承認いただきましたが、「役員構成等検討委員会」では引き続き理事の年齢制限や再任制限などを検討し、硬直化しない組織運営を考えております。また、女性役員（理事、部長、部員）の数が全体の構成比率からも非常に低い現状があり、意識調査を行いながら女性会員の活動参加を促してまいりますとともに、クォータ制導入の検討を続けていきます。さらに事務的な取り組みとして、当センターは府士会予算の20%の分担金で運営をしておりましたが、順調に活動量が増えることで10%の分担金に減額が可能となり、近い将来に分担金ゼロとし名実ともに自立した組織となるように検討を行う「センター自立推進委員会」を設定いたしました。

以上の特別諮問委員会は2年間の活動期間としておりますので、次年度の事業報告にてより具体的な成果としてお伝えできるものと考えております。

さてセンター事業における大きなイベントは、大阪学会、生涯学習研修集会と総合理学療法学であります。また「学びを止めない」というスローガンのもと通年で多くの研修会の開催を実施して参りました。

第35回大阪学会は本田憲胤大会長のもとで「探求心を育む」をテーマとして2023年7月2日に大阪国際会議場で開催され100演題の発表および2,031名のご参加者をいただきました。ほぼ本学会のスタンダードスタイルとなりつつあるハイブリッド開催であり、このメリットを活かし

府外からも半数近い参加者がありました。しかし、1,000 名以上の会員参加があり約 8 割が現地参加であった事実は、ライブ会場での学びを求める声が大きくなっていると考えております。

第 5 回生涯学習研修集会は田竈慶一実行委員長の指揮のもとで、2023 年 9 月 30 日に大和大学を会場に 251 名の受講者に集まっていただきました。COVID-19 による研修会開催のガイドラインが緩和され対面によるハンズオン研修を部分的（2 領域）に実施できました。同時にオンラインにて、半日研修を 4 領域（神経、管理・教育、疼痛、基礎）の 6 研修で行い、「理学療法士における臨床研究のすすめ」をワークショップ形式で前回に引き続き実施しました。

「総合理学療法学 第 3 巻」は 2 本の研究論文と 3 本の症例報告を掲載することができました。優れた論文が可能な限り早く皆さま方の目に触れるように早期公開もしております。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/cptr/-char/ja>。

センター主催研修会は大変に好評をいただいております、“平日の夜はオンライン研修会”という習慣ができつつあるのではと大いに期待しております。令和 5 年度は 36 回の研修会を開催することができ、7,439 名という多くの方にご参加をいただきました。オンライン研修の特性を活かし全国からの参加者が多くあったことは企画力の勝利だと喜ぶ反面、会員の参加数の伸び悩みが今後の課題となっております。

令和 5 年度からの新規事業として認定臨床教育者講習会を企画いたしました。これは指定規則改正による臨床実習指導者講習会受講者を対象にブラッシュアップコースとして全国に先駆け大阪モデルとして開催をいたしました。計 4 回の講習会は申込受付の即日満席となるほどの好評がありました。開催に当たり他 5 士会（OT 1 士会含む）からの視察もあり、全国展開の足場づくりの年となりました。これと並行して臨床実習教育部では、実習施設向けに臨床教育者マニュアル（初版）の案内を行い、一方で府下養成校からの代表者および認定理学療法士（臨床教育）による臨床実習前評価の統一化に関するワーキンググループを設立しました。何れも全国で初めての取り組みで、学術・教育領域に特化したセンター創設の意義の具現化でございます。

上記以外に、生涯学習制度に則った研修会は例年通り開催いたしました。前期研修（1,736 名参加）、後期研修（349 名参加）市区町村士会主催研修会 92 回および「承認」研修会 21 回、領域別研修（事例）390 演題の実施もしくは監督を行いました。また、当センターが認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2 領域（運動器 19 名と脳卒中 4 名）の講習会を開催いたしました。さらに、生涯学習センター主催の理学療法士講習会 13 件と協会助成事業の理学療法士講習会 1 件の管理を行いました。詳細は各部報告を参照いただきたいのですが、市区町村士会のご協力でもあり全国的に圧倒的な数の症例検討および研修事業が実施できたことは大変誇らしいことであると考えています。

また生涯学習制度外の独自の取り組みとして、支部ごとでの第 4 回新人症例発表会の開催を支援いたしました。参加者数は、北支部 206 名、中支部 110 名、東支部 146 名、南支部 94 名と盛会でありました。市区町村士会および支部の実行委員会にはお忙しい中ご尽力をいただきましたこと、この場をお借りしてお礼申し上げます。

以上のように他都道府県士会の数倍数十倍という量の研修事業が実施できたことで、会員諸氏の自己研鑽に大きなアドバンテージを与えることができたのではないかと考えております。これらの事業の裏側に、IT 局や事務局の献身的な支えがあったことを申し添えて、令和 5 年度の事業報告といたします。

1 学術集会の開催等による理学療法に関する研究発表事業

(1) 第35回大阪府理学療法学会大会の準備に関する事業 【事業番号 101 学術大会部】

- ア 機器、備品の貸し出し（進行物品、電源アダプタ等）
オンライン学術大会開催に必要な備品の貸し出しを行った。
- イ 優秀演題授与に関する準備を行った。

(2) 学術大会の運営支援に関する事業 【事業番号 102 学術大会部】

- ア 学術大会開催までのロードマップ作成を行った。
- イ 学術大会開催の指針となるマニュアル作成を行った。
- ウ 学術大会準備に必要なひな形文章の見直しを行った。
- エ 第35回大阪府理学療法学会大会の開催を支援した。

日 時 2023年7月2日（日曜日）

開催形式 ハイブリッド開催（対面会場・Web会場）

テーマ 「探究心を育む」-

大会長 本田 憲胤 先生（医学研究所北野病院）

副大会長 増田 知子 先生（千里リハビリテーション病院）

準備委員長 角田 晃啓 先生（森ノ宮医療大学）

参加登録者

協会員当日参加者（対面/Web）1,158名

協会員後日参加者（VOD）727名

非協会員当日参加者（対面/Web）139名

1,039名（協会員：980名、非会員：5名、学生：54名）

非協会員後日参加者（VOD）7名

合計 2,031名

演題数

一般演題 95題（応募は96演題であったが1演題は事後に取り下げとなった）

卒業研究発表 5題、

合計 100演題

<内 容>

基調講演 「探究心を育む組織づくり」

演者 本田 憲胤 先生（医学研究所北野病院リハビリテーション科）

座長 角田 晃啓 先生（森ノ宮医療大学総合リハビリテーション学部）

特別講演 「探究心を育む協働と学際性」

演者 儀間 裕貴 先生（東京都立大学健康福祉学部）

座長 本田 憲胤 先生（公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院）

教育講演 「筋機能研究に基づいた高齢者に対する評価とトレーニング」

演者 池添 冬芽 先生（関西医科大学リハビリテーション学部）

座長 宮下 敏紀 先生（森ノ宮医療大学附属大阪ベイクリニックリハビリテーション科）

シンポジウム 「探究心！臨床疑問のその先に－研究への発展と臨床還元－」

演者 今井 亮太 先生（大阪河崎リハビリテーション大学リハビリテーション学部）

二階堂 泰隆 先生（大阪医科薬科大学病院リハビリテーション科）

白石 匡 先生（近畿大学病院リハビリテーション科）

座長 河西 謙吾 先生（加納総合病院リハビリテーション科）

田中 謙次 先生（たつえクリニックリハビリテーション科）

ランチョンセミナー

「超高齢社会における心不全患者に対する地域一体化リハビリテーション
～病院から在宅へ、再入院予防を目指して～」

演者 岩田 健太郎 先生（神戸市立医療センター中央市民病院）

座長 谷口 良司 先生（兵庫県立尼崎総合医療センター）

協賛 帝人ファーマ株式会社・帝人ヘルスケア株式会社

「運動器理学療法ブレイクスルー ～カギはアレにあり！～」

演者 工藤 慎太郎 先生（森ノ宮医療大学）

座長 疋田 佳希 先生（aruck lab）

協賛 医学書院

モーニングセミナー

「呼吸リハビリテーションにおける呼吸筋評価の重要性 ～呼吸サルコペニアの話題を含めて～」

演者 玉木 彰 先生（兵庫医科大学）

座長 田平 一行 先生（畿央大学）

協賛 株式会社木幡計器製作所

イブニングセミナー

予防・健康づくり推進のためのモバイルヘルスの活用

演者 金居 督之 先生（金沢大学）

座長 神谷 訓康 先生（神戸市看護大学）

協賛 株式会社 PREVENT

第 35 回大阪府理学療法学術大会 優秀演題賞

・演題名 鏡視下 Bankart 修復術後肩における最大トルクと筋力発揮率の経時的変化

筆頭演者 麻田 昌彦 先生（行岡病院）

・演題名 動画版感情読み取りテスト (VERT) の開発と男女別正答率の比較

筆頭演者 山口 留亜 先生（府中病院）

- ・演題名 CPET、横隔膜動態、胸部 CT 画像より評価した最重症 COPD 患者 2 症例における運動耐容能の比較～実践報告～
筆頭演者 野口 雅矢 先生（近畿大学病院）
 - ・演題名 退院前後で身体活動量と連続 SpO₂ モニタリングを用いて設定酸素流量の適性を判断した間質性肺炎の一症例
筆頭演者 前田 麻里 先生（医学研究所北野病院）
- 卒業研究優秀演題賞
- ・演題名 健常人における骨格筋の酸素抽出能と筋機能との関連
筆頭演者 門岡 梨瑚 先生（森之宮病院）

2 理学療法に関する機関誌等の発行事業

【事業番号 201 学術誌編集部】

（1）学術誌の編集及び発刊に関する事業

学術誌『総合理学療法学』第 3 巻を発行した。第 3 巻では J-STAGE でのオンライン公開のみとし、研究論文 2 編、症例報告 3 編の計 5 論文を掲載した。今後、より多くの論文を掲載するために、『総合理学療法学』第 4 巻の発行に向け論文を募集し、編集委員会として投稿論文のチェック・査読依頼・論文審査・校正依頼を実施した。また、受理論文を J-STAGE にて早期公開を行った。

（2）研究活動の助成に関する事業

【事業番号 202 学術誌編集部】

生涯学習研修集会における研修「理学療法士における臨床研究のすすめ」を学術誌編集部が担当し、企画を行った。2023 年 9 月 30 日（土）の 9 時 20 分から 16 時 10 分で実施し、第 5 回生涯学習研修集会では「臨床研究の進め方」および「論文執筆・投稿の実際」というテーマで、中村潤二先生（西大和リハビリテーション病院）と野添匡史先生（関西医科大学）に講義を頂いた。各テーマについて ZOOM ミーティングによるワークショップ形式で実施した。参加者は 8 名であった。

3 理学療法士等の資質向上を目的として行う研修等事業

（1）第 5 回生涯学習研修集会の企画運営支援に関する事業

第 5 回生涯学習研修集会の企画運営を行った。

日 時 令和 5 年 9 月 30 日（土）

午前 9 時から午後 4 時 35 分まで

開催形式 対面（ハンズオンセミナー）、オンライン、アーカイブ配信

会 場 大和大学（対面研修、本部）

申込者数 251 名（会員外 0 名）

ア 対面研修（ハンズオン）

内部障害 慢性呼吸障害に対する評価と理学療法

講師 神津 玲 先生（長崎大学）

研修時間 午前9時20分から午後4時10分まで

カリキュラムコード 98 呼吸障害

申込者数 21 名

運動器 解剖学とバイオメカニクスで捉える肩関節障害と運動療法（対面）

講師 村木 孝行 先生（東北大学病院）

研修時間 午前9時20分から午後4時10分まで

カリキュラムコード 85 関節可動域障害

申込者数 47 名

イ オンライン研修

神経 脳卒中患者のバランス障害～エビデンスから解き明かす問題点の解釈と治療アプローチ～

講師 犬飼 康人 先生（新潟医療福祉大学）

研修時間 午前9時20分から午後0時20分まで

カリキュラムコード 65 平衡機能障害

申込者数 24 名

疼痛 疼痛のメカニズムとそのアプローチ

講師 松原 貴子 先生（神戸学院大学）

研修時間 午前9時20分から午後0時20分まで

カリキュラムコード 96 疼痛に対する理学療法

申込者数 35 名

管理・教育 成長に向けた“わたし”と“チーム”のマネジメント～組織を円滑に動かすためにできること～

講師 江草 典政 先生（島根大学医学部附属病院）

研修時間 午前9時20分から午後0時20分まで

カリキュラムコード 24 信頼関係の構築と共同作業の実践

申込者数 17 名

神経 脳画像評価のポイントとピットフォール～運動機能・歩行との関係を中心に～

講師 玉利 誠 先生（令和健康科学大学）

研修時間 午後1時10分から午後4時10分まで

カリキュラムコード 43 臨床推論

申込者数 20 名

基礎 臨床に活かす歩行分析～バイオメカニクスの理解と理学療法への応用～

講師 畠中 泰彦 先生（鈴鹿医療科学大学）

研修時間 午後1時10分から午後4時10分まで

カリキュラムコード 52 活動体としての人間理解「基本動作」

申込者数 35 名

管理・教育 EBPT の実践～Shared Decision Making を用いた意思決定方法～

講 師 尾川 達也 先生（西大和リハビリテーション病院）

研修時間 午後 1 時 10 分から午後 4 時 10 分まで

カリキュラムコード 45 エビデンス（根拠）に基づく理学療法

申込者数 14 名

理学療法士における臨床研究のすすめ（ワークショップ）

臨床研究の進め方

講 師 中村 潤二 先生（西大和リハビリテーション病院）

研修時間 午前 9 時 20 分から午後 0 時 20 分まで

論文執筆・投稿の実際

講 師 野添 匡史 先生（関西医科大学）

研修時間 午後 1 時 10 分から午後 4 時 10 分まで

カリキュラムコード 48 研究法

申込者数 9 名

ウ アーカイブ配信

Vimeo による配信サービス（対面研修を除く）

配信期間 令和 5 年 10 月 7 日（土）から 11 月 18 日まで（土）

視聴申込者数 29 名

（2）研修会・講習会の開催に関する事業

【事業番号 302 研修部】

ア センター「主催」研修会

年間 36 回の研修会を開催した。全研修会において、登録理学療法士更新ポイント、専門・認定理学療法士更新点数を取得できるよう企画し、平日夜のオンライン開催にすることで業務後に参加しやすくし、センター会員だけでなく全国の協会会員が参加できるようにした。研修会開催後は、講師承諾が得られた 34 研修で 2 週間のアーカイブ配信を実施した。研修会の詳細と全 36 回の申込者および履修登録者の総数を以下に示す。

開催方法 オンライン（ZOOM ウェビナー）

開催時間 午後 7 時から午後 8 時 30 分まで

登録理学療法士更新ポイント 1.5 ポイント

専門・認定理学療法士更新点数 1.5 点

申込者総数（内センター会員数・率） 7,439 名（1,477 名・19.9%）

履修登録者総数（履修登録者率） 6,037 名（81.2%）

（ア）第 1 回研修

基礎から学ぶ脳機能 ～小脳の機能と障害、理学療法介入の基本～

期日 令和 5 年 4 月 11 日（火）

講師 松木 明好先生（四條畷学園大学）

カリキュラムコード 83 神経筋疾患の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 303 名（46 名・15.2%）

履修登録者数（履修登録者率） 241 名（79.5%）

（イ） 第2回研修会

基礎から学ぶバイオメカニクス ～下肢運動連鎖とメカニカルストレス～

期日 令和5年4月18日（火）

講師 橋本 雅至先生（奈良学園大学）

カリキュラムコード 52 活動体としての人間理解：基本動作

申込者数（内センター会員数・率） 325 名（42 名・12.9%）

履修登録者数（履修登録者率） 281 名（86.5%）

（ウ） 第3回研修会

運動器エコーの診方と評価治療への活用

期日 令和5年4月27日（木）

講師 磯田 真理先生（西川クリニック）

カリキュラムコード 84 骨関節障害

申込者数（内センター会員数・率） 216 名（28 名・13.0%）

履修登録者数（履修登録者率） 190 名（88.0%）

（エ） 第4回研修会

医療政策と診療報酬改定から読み解く理学療法士の未来と備え

期日 令和5年5月15日（月）

講師 穴田 周吾先生（株式会社グローバルヘルスコンサルティング・ジャパン）

カリキュラムコード 19 理学療法政策

申込者数（内センター会員数・率） 259 名（43 名・16.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 213 名（82.2%）

（オ） 第5回研修会

パーキンソン病の理学療法：多角的な視点からのアプローチ

期日 令和5年5月25日（木）

講師 岡田 洋平先生（畿央大学）

カリキュラムコード 81 パーキンソン病関連疾患の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 325 名（63 名・19.4%）

履修登録者数（履修登録者率） 286 名（88.0%）

（カ） 第6回研修会

大腿骨近位部骨折の「術後の痛み」と「股関節機能障害」に対する理学療法の展開

期日 令和5年6月7日（水）

講師 松本 浩希先生（市立吹田市民病院）

カリキュラムコード 88 運動器疾患の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 321 名（47 名・14.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 271 名（84.4%）

（キ） 第7回研修会

腰部脊柱疾患に対する評価・アプローチ～臨床におけるピットフォール～

期日 令和5年6月14日（水）

講師 増井 健二先生（堺若葉会病院）

カリキュラムコード 131 慢性疾患・複合疾患の管理

申込者数（内センター会員数・率） 273 名（48 名・17.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 250 名（91.6%）

（ク） 第8回研修会

脳卒中患者の歩行障害の理解とその再建 ～最新のエビデンスを踏まえて～

期日 令和5年6月21日（水）

講師 脇田 正徳先生（関西医科大学）

カリキュラムコード 64 歩行・歩行障害

申込者数（内センター会員数・率） 231 名（47 名・20.3%）

履修登録者数（履修登録者率） 197 名（85.3%）

（ケ） 第9回研修会

基礎から学ぶ代謝 ～今さら聞けない糖尿病の基礎知識～

期日 令和5年7月6日（木）

講師 野村 卓生先生（関西福祉科学大学）

カリキュラムコード 110 代謝疾患の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 142 名（40 名・28.2%）

履修登録者数（履修登録者率） 117 名（82.4%）

（コ） 第10回研修会

発達障害に伴う運動機能障害～理学療法士にもとめられる発達支援～

期日 令和5年7月12日（水）

講師 儀間 裕貴先生（東京都立大学）

カリキュラムコード 122 小児・発達障害の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 287 名（43 名・15.0%）

履修登録者数（履修登録者率） 249 名（86.8%）

（サ） 第11回研修会

基礎から学ぶ呼吸～解剖学、生理学をふまえて診る検査所見、画像所見と呼吸リハビリテーションの基礎～

期日 令和5年7月19日（水）

講師 堀江 淳先生（京都橘大学）

カリキュラムコード 98 呼吸障害

申込者数（内センター会員数・率） 283 名（64 名・22.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 244 名（86.2%）

(シ) 第12回研修会

基礎から学ぶ解剖 ～関節機能障害を理解するための関節周囲組織の解剖学的特徴
(上肢編)～

期日 令和5年7月26日(水)

講師 荒川 高光先生(神戸大学大学院)

カリキュラムコード 49 理学療法の基礎領域

申込者数(内センター会員数・率) 239名(63名・26.4%)

履修登録者数(履修登録者率) 206名(86.2%)

(ス) 第13回研修会

産業理学療法における予防の視点 ～身体と環境の関わりを考える～

期日 令和5年8月3日(木)

講師 岡原 聡先生(大阪急性期・総合医療センター)

カリキュラムコード 155 産業理学療法における理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 137名(31名・22.6%)

履修登録者数(履修登録者率) 119名(86.9%)

(セ) 第14回研修会

脳卒中回復のためにおさえておくべき脳機能の考え方

期日 令和5年8月7日(月)

講師 棚野 浩司先生(関西福祉科学大学)

カリキュラムコード 74 中枢神経疾患

申込者数(内センター会員数・率) 202名(51名・25.2%)

履修登録者数(履修登録者率) 165名(81.7%)

(ソ) 第15回研修会

これからの職能として考える「精神・心理領域」に対する理学療法の展望

期日 令和5年9月5日(火)

講師 石橋 雄介先生(地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪精神医療センター)

カリキュラムコード 135 精神疾患に対する理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 86名(29名・33.7%)

履修登録者数(履修登録者率) 67名(77.9%)

(タ) 第16回研修会

基礎から学ぶ循環 ～安全な理学療法実践のための血液データの見方～

期日 令和5年9月12日(火)

講師 堀 竜次先生(森ノ宮医療大学)

カリキュラムコード 40 生理機能検査と解釈

申込者数(内センター会員数・率) 273名(77名・28.2%)

履修登録者数(履修登録者率) 234名(85.7%)

(チ) 第17回研修会

ウィメンズヘルス ～産前・産後に起こる身体変化と理学療法～

期日 令和5年9月14日(木)

講師 春本 千保子先生((株)リハ・コンディショニングセンター)

カリキュラムコード 126 ウィメンズヘルス・メンズヘルスにおける理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 246名(41名・16.7%)

履修登録者数(履修登録者率) 211名(81.9%)

(ツ) 第18回研修会

スポーツ傷害に対する理学療法(下肢編) ～着地動作のバイオメカニクス～

期日 令和5年9月21日(木)

講師 杉山 恭二先生(大阪公立大学)

カリキュラムコード 90 スポーツ分野における理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 181名(25名・13.8%)

履修登録者数(履修登録者率) 144名(79.6%)

(テ) 第19回研修会

理学療法士による摂食・嚥下の評価と介入の視点

期日 令和5年10月11日(火)

講師 西川 正一郎先生(葛城病院)

カリキュラムコード 137 咀嚼摂食嚥下の理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 226名(34名・15.0%)

履修登録者数(履修登録者率) 185名(81.9%)

(ト) 第20回研修会

地域の”かかりつけ理学療法士”に求められる5つの能力

期日 令和5年10月16日(月)

講師 山口 良太先生(株式会社アールイーコンセプト)

カリキュラムコード 152 健康維持・健康増進における理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 99名(31名・31.3%)

履修登録者数(履修登録者率) 84名(84.8%)

(ナ) 第21回研修会

活動と参加に焦点をあてた訪問リハビリテーション ～何を評価し、どのように目標を立てるのか～

期日 令和5年10月18日(水)

講師 清久 昌利先生(ももの木訪問看護リハビリステーション貝塚)

カリキュラムコード 169 訪問理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 157名(30名・19.1%)

履修登録者数(履修登録者率) 136名(86.6%)

(ニ) 第22回研修会

エビデンスを考慮した要介護高齢者に対する地域理学療法～身体活動量に着目する意義と支援～

期日 令和5年11月7日(火)

講師 石垣 智也先生(名古屋学院大学)

カリキュラムコード 7 地域リハビリテーション

申込者数(内センター会員数・率) 215名(47名・21.9%)

履修登録者数(履修登録者率) 173名(80.5%)

(ヌ) 第23回研修会

基礎から学ぶ画像評価 ～脳画像からみる病態把握と障害の予測～

期日 令和5年11月8日(水)

講師 松田 淳子先生(大阪行岡医療大学)

カリキュラムコード 45 エビデンス(根拠)に基づく理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 224名(47名・21.9%)

履修登録者数(履修登録者率) 164名(73.2%)

(ネ) 第24回研修会

脳卒中患者に対する立ち上がり動作の分析と治療戦略 ～座位姿勢に着目して～

期日 令和5年11月22日(水)

講師 森 公彦先生(関西医科大学)

カリキュラムコード 62 運動麻痺

申込者数(内センター会員数・率) 166名(38名・22.9%)

履修登録者数(履修登録者率) 114名(68.7%)

(ノ) 第25回研修会

回復期の脊髄損傷リハビリテーション ～日常生活動作における指導のポイントと
コツ、退院支援の進め方～

期日 令和5年12月7日(木)

講師 宮下 創先生(星ヶ丘医療センター)

カリキュラムコード 80 脊髄損傷の理学療法

申込者数(内センター会員数・率) 82名(15名・18.3%)

履修登録者数(履修登録者率) 60名(73.2%)

(ハ) 第26回研修会

肩関節の機能解剖からみる理学療法～肩関節周囲炎を中心に～

期日 令和5年12月12日(火)

講師 峯 貴文先生(信原病院)

カリキュラムコード 50 基本的な理学療法治療技術

申込者数(内センター会員数・率) 257名(47名・18.3%)

履修登録者数(履修登録者率) 196名(76.3%)

(ヒ) 第27回研修会

論文が読めるPTになろう！ ～データの意味が見える統計学～

期日 令和5年12月14日(木)

講師 文野 住文先生(関西医療大学)

カリキュラムコード 47 統計学

申込者数（内センター会員数・率） 246 名（名・％）

履修登録者数（履修登録者率） 189 名（76.8％）

（フ） 第 28 回研修会

基礎から学ぶ統計～臨床での効果を見える化するための方法～

期日 令和 5 年 12 月 20 日（水）

講師 日高 正巳先生（兵庫医科大学）

カリキュラムコード 48 研究法

申込者数（内センター会員数・率） 171 名（38 名・22.2％）

履修登録者数（履修登録者率） 124 名（72.5％）

（ヘ） 第 29 回研修会

理学療法士が知っておくべき糖尿病足病変とフットケア

期日 令和 5 年 1 月 17 日（水）

講師 本田 寛人先生（四條畷学園大学）

カリキュラムコード 131 慢性疾患・複合疾患の管理

申込者数（内センター会員数・率） 80 名（19 名・23.8％）

履修登録者数（履修登録者率） 62 名（77.5％）

（ホ） 第 30 回研修会

COPD の病態理解とセルフマネジメント教育

期日 令和 5 年 1 月 26 日（金）

講師 相田 利雄先生（大阪国際がんセンター）

カリキュラムコード 99 呼吸器疾患

申込者数（内センター会員数・率） 81 名（16 名・19.8％）

履修登録者数（履修登録者率） 59 名（72.8％）

（マ） 第 31 回研修会

心不全患者に対する理学療法～病態理解・フィジカルアセスメントに焦点を定めて～

期日 令和 5 年 1 月 31 日（水）

講師 井澤 和大先生（神戸大学）

カリキュラムコード 106 心臓リハビリテーション

申込者数（内センター会員数・率） 158 名（48 名・30.4％）

履修登録者数（履修登録者率） 124 名（78.5％）

（ミ） 第 32 回研修会

地域在住高齢者におけるフレイルの予防と改善 ～身体活動量を増やすための戦略～

期日 令和 5 年 2 月 5 日（月）

講師 永井 宏達先生（兵庫医科大学）

カリキュラムコード 127 フレイル

申込者数（内センター会員数・率） 180 名（37 名・20.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 130 名（72.2%）

（ム） 第 33 回研修会

脳卒中患者に対する運動麻痺回復ステージ理論に基づいた回復期理学療法

期日 令和 5 年 2 月 7 日（水）

講師 山上 拓先生（大阪鉄道病院）

カリキュラムコード 163 回復期の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 156 名（40 名・25.6%）

履修登録者数（履修登録者率） 112 名（71.8%）

（メ） 第 34 回研修会

管理・ミドルマネジメント ～スタッフのやる気と技術を高めるための工夫～

期日 令和 5 年 2 月 20 日（火）

講師 吉川 創先生（わかくさ竜間リハビリテーション病院）

カリキュラムコード 159 スタッフ教育と教育システム

申込者数（内センター会員数・率） 155 名（28 名・18.1%）

履修登録者数（履修登録者率） 109 名（70.3%）

（モ） 第 35 回研修会

ベッドサイド理学療法～安全に離床するためのリスク管理とその実践～

期日 令和 5 年 3 月 6 日（水）

講師 岩田 健太郎先生（神戸市立医療センター中央市民病院）

カリキュラムコード 161 急性期の理学療法

申込者数（内センター会員数・率） 215 名（47 名・21.9%）

履修登録者数（履修登録者率） 152 名（70.7%）

（ヤ） 第 36 回研修会

病棟内における転倒リスクについて考える ～評価と予防の実践～

期日 令和 5 年 3 月 12 日（火）

講師 徳久 謙太郎先生（友紘会総合病院）

カリキュラムコード 27 医療安全・安全管理

申込者数（内センター会員数・率） 238 名（45 名・18.9%）

履修登録者数（履修登録者率） 179 名（75.2%）

イ 市区町村理学療法士会「主催」研修会

各市区町村士会から 92 件の「主催」研修会の申請があり、開催された。

開催士会および件数

箕面市理学療法士会	2 件
吹田市理学療法士会	2 件
高槻市理学療法士会	2 件
茨木市理学療法士会	2 件
福島区理学療法士会	2 1 件

住吉区理学療法士会	1 件
北区理学療法士会	2 件
住之江区理学療法士会	1 件
淀川区理学療法士会	1 件
西区理学療法士会	2 件
枚方市理学療法士会	3 6 件
八尾市・柏原市理学療法士会	3 件
羽曳野市理学療法士会	3 件
東大阪市理学療法士会	1 件
門真市理学療法士会	1 件
熊取町理学療法士会	3 件
泉南市理学療法士会	4 件
岸和田市理学療法士会	2 件

ウ センター「承認」研修会

会員所属施設から各市区町村理学療法士会に 20 件の「承認」研修会の申請があり開催された。

担当士会（主催者所属士会）および件数

北区理学療法士会	2 件
大正区理学療法士会	1 件
福島区理学療法士会	2 件
枚方市理学療法士会	2 件
藤井寺市理学療法士会	1 件
松原市理学療法士会	2 件
守口市理学療法士会	1 件
寝屋川市理学療法士会	1 件
藤井寺市理学療法士会	1 件
堺市理学療法士会	5 件
岸和田市理学療法士会	1 件
泉佐野市・田尻町理学療法士会	1 件
熊取町理学療法士会	1 件

（３）３士会合同研修会事業

【事業番号 307 研修部】

大阪府作業療法士会、大阪府言語聴覚士会との共同開催で令和 6 年 9 月 1 日（日）に「高次脳機能障害と社会参加」というテーマで第 1 回 3 士会合同研修会を開催することとした。会場は、森ノ宮医療大学を予定している。

(4) 新生涯学習制度における前期・後期研修に関する事業

【事業番号 303 研修理学療法教育部】

新人症例発表会の運営に関する事業

ア 前期研修（新人ガイダンス）

日 時 令和5年6月4日（日）午前10時00分から11時30分まで

令和5年6月4日（日）午後14時55分から16時25分まで

場 所 大阪国際会議場

テーマ 「A-2 協会組織」

参加者 593 名

講 師 熊崎 大輔 先生（大阪府理学療法士会 会長）

イ 前期研修（センター主催）

日 時 令和5年6月26日（月）午後19時00分から午後20時30分まで

令和5年7月18日（火）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「A-4 理学療法における関連法規」

参加者 240 名

講 師 射場 一寛 先生（清恵会第二医療専門学院）

日 時 令和5年6月27日（火）午後19時00分から午後20時30分まで

令和5年7月19日（水）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「A-5 理学療法における情報管理」

参加者 228 名

講 師 村西 壽祥 先生（大阪河崎リハビリテーション大学）

日 時 令和5年6月28日（水）午後19時00分から午後20時30分まで

令和5年7月17日（月）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「A-1 職業人と倫理」

参加者 227 名

講 師 射場 一寛 先生（清恵会第二医療専門学院）

日 時 令和5年6月29日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

令和5年7月21日（金）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「A-3 人間関係および接遇」

参加者 226 名

講 師 井阪 美智子 先生（関西医療学園専門学校）

日 時 令和5年6月30日（金）午後19時00分から午後20時30分まで
令和5年7月20日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「A-6 生涯学習について」

参加者 222 名

講 師 射場 一寛 先生（清恵会第二医療専門学院）

ウ 後期研修（領域別研修における士会オリジナル研修）

日 時 令和5年9月7日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「C-1 神経系理学療法 維持期における脊髄損傷の理学療法」

参加者 6 名

講 師 高尾 茉侑 先生（JCHO 星ヶ丘医療センター）

日 時 令和5年9月14日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「C-2 運動器系理学療法 生活期における変形性膝関節症の理学療法アプローチ」

参加者 25 名

講 師 高尾 弘志 先生（大阪急性期・総合医療センター）

日 時 令和5年9月21日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「C-3 内部障害系理学療法 慢性呼吸不全における理学療法評価と治療」

参加者 23 名

講 師 宮崎 敬士 先生（友誼会総合病院）

日 時 令和5年9月28日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「C-4 病期別理学療法 上腕骨骨折の評価と治療」

参加者 24 名

講 師 白井 孝尚 先生（喜馬病院）

日 時 令和5年10月5日（木）午後19時00分から午後20時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「C-1 神経系理学療法 神経筋疾患の評価と治療
ーパーキンソン病への関わり方を中心にー」

参加者 26 名

講 師 福本 悠樹 先生（関西医療大学）

日 時 令和5年10月12日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-2 運動器系理学療法 運動器疾患における慢性疼痛のメカニズムと
その関わり方」
参加者 27名
講 師 川崎 友祐希 先生（喜馬病院）

日 時 令和5年10月19日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-3 内部障害系理学療法 循環器疾患のリスクマネジメント」
参加者 40名
講 師 笠井 健一 先生（松下記念病院）

日 時 令和5年10月26日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-4 病期別理学療法 脳卒中患者の筋緊張異常に関する評価と解釈」
参加者 30名
講 師 實光 遼 先生（介護老人保健施設 ヴァンベール）

日 時 令和5年11月2日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-1 神経系理学療法 脳卒中片麻痺患者に対する物理療法の実際」
参加者 13名
講 師 岡 大史 先生（ベルピアノ病院）

日 時 令和5年11月9日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-2 運動器系理学療法 人工股関節全置換術後の復職・余暇活動について」
参加者 16名
講 師 多久和 良亮 先生（JCHO 星ヶ丘医療センター）

日 時 令和5年11月16日（木）午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催（L I V E）
テーマ 「C-3 内部障害系理学療法 併存病に糖尿病を有する症例への理学療法
（運動器疾患を中心に）」
参加者 21名
講 師 堀口 怜志 先生（喜馬病院）

日 時 令和5年11月30日(木) 午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催(L I V E)
テーマ 「C-4 病期別理学療法 脳卒中片麻痺患者における地域理学療法」
参加者 9名
講 師 櫻井 礼貴 先生(大阪たつみリハビリテーション病院)

日 時 令和5年12月7日(木) 午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催(L I V E)
テーマ 「C-1 神経系理学療法 維持期における脳卒中片麻痺における理学療法」
参加者 17名
講 師 森田 隆剛 先生(城山病院)

日 時 令和5年12月14日(木) 午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催(L I V E)
テーマ 「C-2 運動器系理学療法 投球障害肩における理学療法評価と治療」
参加者 16名
講 師 稲田 竜太 先生(運動器ケア しまだ病院)

日 時 令和6年1月18日(木) 午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催(L I V E)
テーマ 「C-3 内部障害系理学療法 急性期病院における終末期呼吸器患者との関わり」
参加者 25名
講 師 亀甲 健太郎 先生(市立吹田市民病院)

日 時 令和6年1月25日(木) 午後19時00分から午後20時30分まで
場 所 オンライン開催(L I V E)
テーマ 「C-4 病期別理学療法 パーキンソン病における地域理学療法」
参加者 31名
講 師 金 起徹 先生(川口脳神経外科リハビリクリニック)

エ 領域別研修(事例) 士会『承認』症例検討会

令和5年 7月 35題(演題)開催
令和5年 8月 48題(演題)開催
令和5年 9月 45題(演題)開催
令和5年10月 55題(演題)開催
令和5年11月 34題(演題)開催
令和5年12月 53題(演題)開催
令和6年 1月 45題(演題)開催

令和6年 2月 27題（演題）開催

令和6年 3月 44題（演題）開催

合計 386題

オ 領域別研修（事例）士会『主催』症例検討会

日 時 令和6年2月29日（木）午後19時00分から午後21時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

テーマ 「E-2 運動器理学療法症例検討会」 2題

「E-3 内部障害理学療法症例検討会」 2題

参加者 246名（4題延べ数）

カ 第4回新人症例発表会

北支部新人症例発表会

日 時 令和6年1月14日（日）午前9時から午後13時00分まで

場 所 行岡医療大学（対面開催）

主幹士会 豊中市理学療法士会（会長 花房 義和 先生）

実行委員長 藤原 正史 先生（かとう整形在宅クリニック）

発表演題数 59 演題

参加者 206 名

東支部新人症例発表会

日 時 令和6年1月14日（日）午前10時から午後14時30分まで

場 所 阪奈中央リハビリテーション専門学校（対面開催）

主幹士会 門真市理学療法士会（会長 大野 博幹 先生）

実行委員長 大野 博幹 先生（牧リハビリテーション病院）

発表演題数 55 演題

参加者 146 名

南支部新人症例発表会

日 時 令和6年1月21日（日）午前9時から午後12時まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

主幹士会 貝塚市理学療法士会（会長 今岡 真和 先生）

実行委員長 今岡 真和 先生（大阪河崎リハビリテーション大学）

発表演題数 23 演題

参加者 94 名

中支部新人症例発表会

日 時 令和6年1月21日（日）午前10時から午後14時30分まで

場 所 オンライン開催（L I V E）

主幹士会 住吉区理学療法士会（会長 奥野 友和 先生）

実行委員長 元石 光裕 先生（大阪府立大阪南視覚支援学校）

発表演題数 43 演題

参加者 110 名

(5) 指導者の育成に関する事業 【事業番号 304 臨床実習教育部】

ア 認定臨床教育者制度に基づき、講習会を計4回実施した。

(ア) 認定臨床教育者講習会 Basic コース

日 時 第1回 令和5年9月17日(日) 午前9時00分から午後5時30分まで
第2回 令和5年11月11日(土) 午前9時00分から午後5時30分まで

場 所 森ノ宮医療大学

講 師 中川 法一 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会)

射場 一寛 先生(副理事長)

酒井 吉仁 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会)

<演習ファシリテーター>

都留 貴志 先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会)

亀甲 健太郎 先生(臨床実習教育部)

貞末 仁美 先生(臨床実習教育部)

辻岡 大輔 先生(臨床実習教育部)

森下 宗之 先生(臨床実習教育部)

テーマ 講義1「クリニカル・クラークシップによる臨床実習の考え方」

講義2「経験学習モデルによる指導展開」

講義3「クリニカル・クラークシップにおける教育学習理論」

演習1「正統的周辺参加」

演習2「基本的スキルの理解と細分化」

参加者 第1回 39名(修了者39名)

第2回 37名(修了者37名)

(イ) 認定臨床教育者講習会 Advance コース

日 時 : 令和5年12月24日(日) 午前9時00分から午後6時30分まで

場 所 : 森ノ宮医療大学

講 師 : 日高 正巳先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会)

山下 昌彦先生(日本リハビリテーション臨床教育研究会)

テーマ : 講義1「教育効果と学生評価」

講義2「形成的評価と指導計画 総論」

講義3「形成的評価と指導計画 各論」

演習1「運動スキル指導場面における形成的評価」

演習2「認知スキル指導場面における形成的評価」

参加者 : 44名(修了者44名)

(ウ) 認定臨床教育者講習会 Master コース

日 時 : 令和6年3月10日(日) 午前9時00分から午後3時30分まで

場 所 : オンライン(ZOOM ミーティング)

講 師：中川 法一先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会）
日高 正巳先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会）
＜演習ファシリテーター＞
酒井 吉仁先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会）
山下 昌彦先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会）
都留 貴志先生（日本リハビリテーション臨床教育研究会）
亀甲 健太朗先生（臨床実習教育部）
森下 宗之先生（臨床実習教育部）

テーマ：講義1「認定臨床教育者に求められること」

講義2「臨床教育者の育成」

演習1「臨床教育者の支援」

参加者：43名（認定者43名）

イ 診療参加型臨床実習における臨床教育者マニュアル（初版）の案内、およびパブリックコメントの募集を行った。

（6）臨床実習教育基準に関する事業

【事業番号 305 臨床実習教育部】

ア 大阪府下養成校からの代表者、および認定理学療法士（臨床教育）を取得した方を募り、臨床実習前評価の統一化に関するワーキンググループを設立した（養成校 20名、臨床PT 6名）。

イ ワーキンググループの任期を2年とし、令和6年度までの会議日程を決め、臨床実習参加基準や実習前評価の方法について検討を進めた。

4 目的を同じくする法人等の行う活動に関する助言又は支援

（1）認定理学療法士認定臨床カリキュラム教育機関に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

認定理学療法士臨床認定カリキュラム教育機関として、2領域（運動器と脳卒中）のカリキュラムを開講した。開催形式はオンデマンド形式（必須15科目）、Zoomウェビナーによるオンライン形式（選択5科目）で行なった。必須科目のオンデマンド視聴期間は、令和5年10月1日（日）から令和5年12月1日（金）とした。Zoomウェビナーによるオンライン形式の選択科目は令和5年10月29日（日）に開催した。各領域の受講者数は運動器19名、脳卒中4名であった。

（2）理学療法士講習会（協会助成金事業と府士会主催事業）の申請に関する事業

【事業番号 401 受託研修部】

令和5年度の生涯学習センター主催の理学療法士講習会（以下、センター主催）13件（上半期5件、下半期8件）と協会助成事業の理学療法士講習会（以下、助成事業）1件の管理

を行った。また令和6年度の同講習会の募集を行い、上半期センター主催8件と助成事業1件の応募があり、採択された。

5 法人の目的を達成するために必要な事業

(1) ホームページ及びSNSによる広報に関する事業

【事業番号 501 ソーシャルメディア管理部】

- ア 当センターHPの管理運営を行なった。
- イ SNS (Facebook, Twitter, Instagram) の管理運営を行った。
- ウ 研修会・学会等の学術関連の広報活動を行った。
ニュース・お知らせ：114件 研修会・学会等：181件

(2) ニュースの編集及びホームページ掲載に関する事業

【事業番号 502 ニュース編集部】

- ア 研修会・講習会・学会等の学術関連の広報活動に関する事を行った。
- イ ホームページに活動・学会等に関する掲載を行った。
府士会ニュースへの掲載依頼 6件

(3) 役員の行動に伴う業務管理に関する事業

【事業番号 503 総務部】

- ア 理事会開催の管理を行った。
第1回 4月12日 第2回 5月9日 第3回 6月14日 第4回 7月12日
第5回 8月8日 第6回 9月13日 第7回 10月11日 第8回 11月14日
第9回 12月13日 第10回 1月10日 第11回 2月13日 第12回 3月12日
臨時理事会 第1回 4月28日 第2回 6月18日 第3回 8月1日
- イ 総会、学会、部会など出席の管理を行った。
第5回定時総会
期 日 令和4年6月18日(日)
場 所 ホテルマイステイズ新大阪コンファレンスセンター
(大阪府大阪市淀川区西中島6丁目2番19号)
代議員 総代議員数 80名
出席代議員数(委任状出席を含む) 72名
欠席者 8名
第1回拡大会議
役員・局長・部長を交えた全体会議を開催した。
期 日 2023年9月20日(水) 18時45分から20時00分まで
場 所 大阪府立男女共同参画・青少年センター(ドーンセンター)
- ウ 他団体との交際の管理を行った。
新年互礼会

期 日 令和6年1月11日(木) 19時00分～21時00分
場 所 ホテルグランヴィア大阪 20階「鳳凰」
大阪市北区梅田3丁目1番1号)
会員・賛助会員79名、来賓25名 計104名

(4) 理学療法説明会に関する事業 【事業番号 504 総務部】

新入会員に向けてセンター役員を紹介した。

期 日 2024年6月4日(日) 11時00分から12時00分まで
場 所 大阪国際会議場
出席者 597名

(5) センター運営の支援に関する事業 【事業番号 505 総務部】

ア 理事会、定時総会、部長会議、その他諸会議の準備と運営を行った。

イ 表彰に関する準備を行った。

第34回大阪府理学療法学術大会優秀演題賞(6件)

令和5年度大阪府理学療法学術賞(1件)

令和5年度卒業研究優秀演題賞(1件)

ウ 議案書、議事録、会議資料の作成と保管を行った。

エ 公文書、申請書、報告書の発行と保管を行った。

公文書 284件

委嘱状 144件

オ センター刊行物、各種資料等の保管を行った。

カ 儀礼、慶弔対応を行った。

弔電 2件

祝電 44件(大阪府下養成校への入学・卒業祝い)

供花 0件

キ 事務所、事務員の管理を行った。

ク 府士会を通じて協会との事務連絡を行った。

(6) 理事長活動に伴う業務管理に関する事業 【事業番号 506 財務部】

他団体との交流などの管理を行った。

(7) 局・部運営に伴う業務の管理に関する事業 【事業番号 507 財務部】

ア 局及び部会議の開催に関する管理を行った。

イ センター以外の諸会議への出席に関する管理を行った。

ウ R5年度の下記特別諮問委員会の発足および委員の財務管理を行った。

自立推進委員会

総合理学療法学プレゼンス向上委員会

学会・研修集会あり方検討委員会

役員構成等検討委員会

(8) 財務管理に関する事業

【事業番号 508 財務部】

- ア 会計業務委託先と連携を取り財務管理を行った。
- イ 年間予算の作成及び各部支出状況の管理を行った。
 - (ア) 予算・決算に関する事業を行った。
 - (イ) 事業収入に関する事業を行った。
 - (ウ) 事業費、管理費の支出などに関する事を行った。
 - (エ) 流動資産の管理に関する事を行った。
 - (オ) 支給規則の遵守に関する事を行った。
- ア 会計業務委託先と連携を取り財務管理を行う。
- イ 年間予算の作成及び各部支出状況を管理する。

(9) 新年互礼会の開催に関する事業

【事業番号 509 総務部】

新年互礼会の開催に関する事業を行った。

期 日 令和6年1月11日(木) 19時00分から21時00分まで

場 所 ホテルグランヴィア大阪 20階「鳳凰」

(大阪市北区梅田3丁目1番1号)

会員・賛助会員 79名、来賓 25名 計 104名

(10) 役員選挙に関する事業

【事業番号 510 選挙管理委員会】

理事の1名が任期期間中に理由ある退任となり補欠選挙を行い立候補者1名により無投票当選となった。R7年度・R8年度に向けて定款に基づき役員改選の準備を行う。

(11) 情報技術の活用・支援に関する事業

【事業番号 511 システムエンジニアリング部】

- ア ITソリューションサービスの提案を行なった。
 - (ア) ZOOM ライセンスの適正運用に関して
 - (イ) Online Shop 会員獲得に関して
- イ センター主催イベント(学術大会・研修集会等)の配信サポートを行なった。
 - (ア) 第5回生涯学習研修集会の情報技術に関する支援を行なった。
 - (イ) 第35回大阪府理学療法学術大会の情報技術に関する支援を行なった。
 - (ウ) 2023年度開催臨床認定カリキュラムの情報技術に関する支援を行なった。
 - (エ) 配信機器の保守・管理を行なった